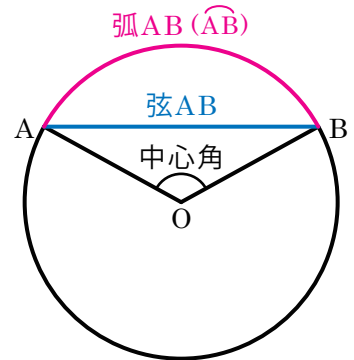


# 円とおうぎ形 (1)

## 弧と弦

右図のような、2点A、Bを両端とする円周の一部を**弧AB**といい、 $\widehat{AB}$ と表す。

また、弧ABの両端A、Bを結んだ線分を**弦AB**という。

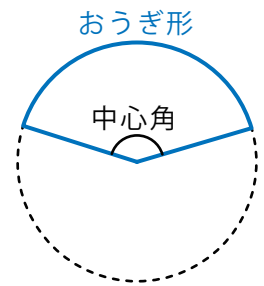


## 中心角

弧ABの両端の点A、Bと、円の中心Oを結んでできた $\angle AOB$ のことを、弧ABに対する**中心角**という。

## おうぎ形

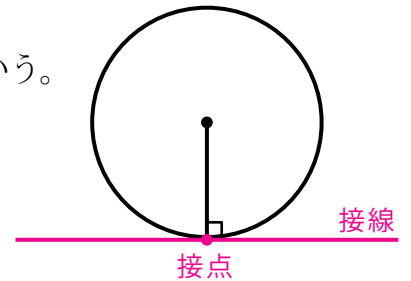
2つの半径とその間にある弧によって囲まれた図形を**おうぎ形**という。  
 おうぎ形の2つの半径がつくる角を**中心角**という。



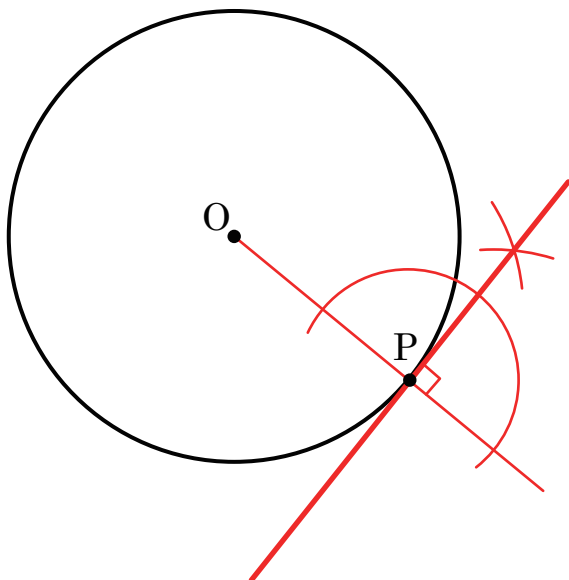
- ※ おうぎ形の中心角は $180^\circ$ 以上のときもある。
- ※ 円は、中心角が $360^\circ$ のおうぎ形とみることができる。

## 円の接線と接点

円と直線がただ1点だけで交わることを、直線が円に**接する**という。  
 このような直線を**接線**、接している点を**接点**という。  
 円の接線は、接点を通る円の半径に垂直である。



【1】点Pを通る円Oの接線を作図しなさい。



点Pを通る、円の半径OPを延長した直線の垂線を作図する。